

WWLコンソーシアム構築支援事業
持続可能な教育活動を目指して
～コンソーシアムを活用した探究活動の深まり～



東京都立南多摩中等教育学校

本日発表する内容

- 1 南多摩の探究活動
- 2 Local型 探究からCross the Border型探究への発展
- 3 WWLコンソーシアム構築支援事業による波及効果
- 4 他の組織との連携による変化・効果
- 5 生徒の自主的な活動～Agencyを育む～
- 6 公立学校としてできること
～教育実践の他校への還元と自走に向けて～

1 南多摩の探究活動

- 平成22年4月開校以来探究活動を教育活動の柱
- 人間力の南多摩（心・知・体の調和）
- 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間
（5年間の探究活動）後期課程4年・・・2単位 5年・・・1単位
- 独立分掌 フィールドワーク推進室（2013年～）
- 各種の指定事業を探究活動にいかしている
- 2019年文部科学省指定 WWLコンソーシアム構築支援事業拠点校
- 探究活動の延長線上にあるキャリアプランの実現

南多摩の探究活動の流れ

積み上げ



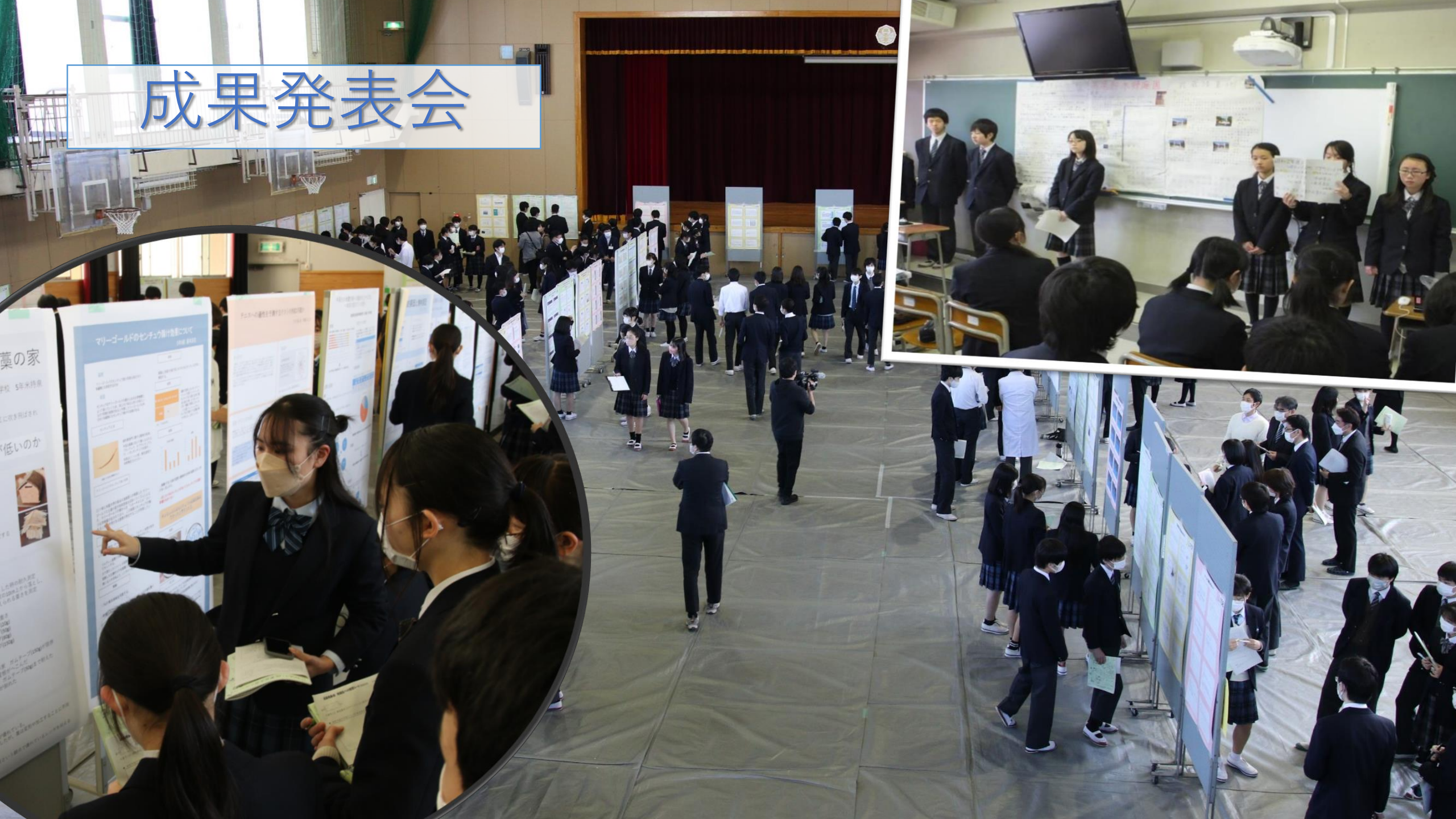
4・5年 ライフワークプロジェクト
個人研究 4000字論文作成

3年 科学的検証活動
検証実験を行い科学的に検証

2年 モノ語り
モノに着目した調査

1年 地域調査
多摩地域の調査

成果発表会



東京都立大学で探究活動を発表（前期3年生）



生徒の研究の深化
キャリア形成

探究の中間発表に対し

- ・ 生徒同士による質問
- ・ 大学院生、大学教員からの質問・アドバイス



後期ゼミ活動

～TAも加わり、ゼミで議論をする～



筑波大学医学部医学科に進学

< 関心 > 自己の医療経験から臨床医への関心

< フィールドワーク >

論文「遠隔医療は医療格差改善に有効か～スリランカを事例として～

英語プレゼンテーション 文部科学省主催全国高校生フォーラム

全国高校生SRサミット“FOCUS”に参加

< キャリアデザイン >

- ・分野別大学模擬授業「心理学分野」を受講
- ・国公立大学医学部ガイダンス参加
- ・JICA国際協力講演会に参加

「高大連携による高度な学び」

(1) 大学と連携した探究学習の深化及びグローバル教育の強化

- ・ 探究論文の指導 東京大学先端技術研究所（高校生研究員 4 年 3 名）
東京都立大学 （5 年 8 名）
- ・ 探究学習の発表 東京都立大学 （令和 4 年 1 月 5 年 4 名発表）
- ・ STEAM教育 東京大学先端技術研究所
（Tokyo Leading Academy 5 年 2 名）
東京工科大学
（連続 4 回講座・データサイエンス、ロボティックス等）
- ・ グローバル教育 東京外国語大学 WWL グローバル講座（ベトナムの風 4 年全員）
- ・ 発展的な学び 東京大学グローバルサイエンスキャンプ（5 年 1 名）
東京農工大学GIYSEプログラム（5 年 1 名）
（Global Innovation program for Young Scientists and Engineers）
東京都立大学 理学部生命科学科英語課程講義（5 年 3 名、6 年 1 名）



オンラインを活用して東京都立大学の先生から指導を受けている生徒の様子

「多様な他者からの学び」

(2) 企業と連携した探究学習の質の向上

- ・ ビジネスの視点 日本政策金融公庫 (4 年全員)
 エルメス財団 (2 年全員)
 バークレイズ証券・銀行 (5 年全員)
- ・ 研究の視点 大林組 (1 年全員)

(3) 地域社会とのコンソーシアムによる教育活動の充実

- ・ 地域課題の解決 八王子市役所 (4 年全員)
 八王子市政策提言発表会 (市内都立高校 4 校が参加)
 放課後学習支援の実践 (八王子市立第四小学校)

(4) 海外とのオンライン交流等による多様な価値観の育成

ベトナム	ハノイ	チューヴァンアン高校	2 回の交流
イタリア	ミラノ	CARLO DELL' ACQUA高校	8 週にわたり S D G s 共同学習



放課後学習支援の様子

「文理を越えた、広い視野からの学び」

(5) 文理融合のカリキュラム・STEAM教育の実施

ア 文理融合のカリキュラム

学校設定科目の実施（2年目）

3年	データ分析
4年	地球探究
5年	MIE (数学を英語で学ぶ)
6年	Pensée (対話を通じた思考)

イ WWL STEAM教育講座

大学との連携による課外授業を活用

○東京工科大学(令和3年度)

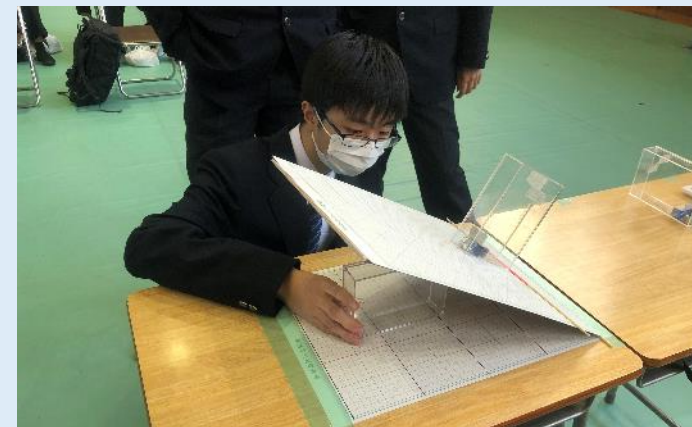
- ・ バイオ薬品
- ・ 映像アート
- ・ コンピュータサイエンス
- ・ ロボティックス



STEAM教育講座の様子

生徒の校内外での成果発表

- (1) 本校成果発表会 (令和4年3月19日)
- (2) 全国高校生フォーラム (令和3年12月19日)
- (3) 科学の甲子園東京都大会 総合3位
- (4) Toyama Science Symposium (戸山高校)
- (5) 全国高校生SRサミット“FOCUS” (立命館宇治高校)
- (6) 環境探究フォーラム
- (7) 八王子市政策提言発表会 市長・教育長に向けて (令和4年2月)
- (8) 東京都立大学探究学習合同発表会 (令和4年1月)
(主として人文・社会科学系の発表)



科学の甲子園東京都大会で実技試験を受ける生徒の様子

2 WWLコンソーシアム構築支援事業を活用してLocal型探究からCross the Border型探究に発展させるための工夫

(1) オンラインの活用

時間と空間を超えた交流の可能性 - 海外交流や企業講演

(2) 生徒・教員・外部機関のコンソーシアムの強化

- | | |
|-------------------|-------------|
| ・ 八王子未来プロジェクト | 生徒の連携 |
| ・ 八王子・高校探究コンソーシアム | 教員・外部機関の連携 |
| ・ 日野市 ひのミラ | 地域・生徒・教員の連携 |
| ・ 八王子政策提言発表会 | 地域・生徒・教員の連携 |
| ・ 東京都立大学探究学習合同発表会 | 大学・高校との連携 |

(3) 生徒の自主活動の支援 - Agencyの育成

- | | |
|------------------|----------------|
| ・ SDGs ミーティングの活動 | 昆虫食の実践 |
| ・ グローバル問題研究会の活動 | 牛乳パックデザインの特許申請 |

3 WWLコンソーシアム構築支援事業による波及効果

(1) 校内における生徒の自主的な活動の活発化・多様化

- ・ グローバル問題研究会 ・ ・ 学年の枠を越えた様々な活動
- ・ SDGs ミーティング ・ ・ SDGs の問題解決への取組
- ・ 小学校への放課後学習支援 ・ ・ 自主的な地域貢献活動

(2) 教科の枠を越えたコラボレーション授業

- ・ MIE ・ ・ 数学＋英語
- ・ 理科＋社会 （例） マイクロプラスチック、渡良瀬遊水地
- ・ 社会＋情報

(3) グローバルな視野の広がり

モンゴル・ベトナム・イタリアの高校生とのオンライン交流

4 他の組織との連携に関する変化・効果

(1) 大学との連携の広がり → 学びからのキャリア形成へ

- ・ 東京都立大学・・探究学習合同発表会の共催
人文系・社会系の探究成果発表の機会を設定
- ・ STEAM教育の実施

(2) 地域との連携の広がり

- ・ 市役所、市内都立高校との連携
「高校生によるまちづくり提案発表会」の共催

(3) 探究にビジネスの視点導入

4年時に日本政策金融公庫による講演→ビジネスプランコンテスト
東京都教育委員会主催「起業・創業ラボ」

5 生徒の自主的な活動～Agencyを育む～

(1) グローバル問題研究会（通称：GI研）

2019年発足 新聞討論会 校内ディベート
SDGsに関するビデオコンテスト応募
オンライン海外交流 八王子市へ政策提言
ストローなしの牛乳パックデザイン→製品化

(2) SDGs ミーティング

卒業生の「ClimateChange」活動が出发点
校内及び校外での啓発活動

(3) ones（生徒の任意団体）

他者のために何かをしたい



八王子市 高校生によるまちづくり提案発表会



地元小学校での放課後学習支援実現
参加メンバーの拡大

6 公立学校としてできること

～教育実践の他校への還元と自走（持続可能な教育活動）に向けて～

★他校でも実践できるような汎用性のある実践

令和3年度までの取組事例を拡大

- （1）探究テキスト（探究の手法・ワークシート）を提供
- （2）八王子・高校探究コンソーシアム
都立高校の探究学習研究・八王子政策提言発表会
の運営（現在市内5校で構成）
- （3）東京都立大学 探究学習合同発表会 参加都立校の拡大
- （4）卒業生の活用・・探究支援 例）TA 南多摩ホームカミングデー
- （5）オンラインの活用・・空間を越えた教育活動（国内外のつながり）

教員作成の独自テキスト



6 公立学校としてできること

～持続可能な教育活動をめざして～

●外部機関との連携を積極的に行う

外部資源による教育の多面化と「ウィンウィン関係」

●予算の工夫と東京都教育委員会との協働

予算内容の精選と教育委員会資源の活用

●課題は教員の異動による事業理念やノウハウの継承にある

➡組織として事業運営をしていく 事業内容の見える化

・ 探究専門部署と教員全体への研修

例) フィールドワーク推進室とゼミ活動の運営

独自テキストの作成

2022年11月12日（土）

WWL 成果報告会

南多摩中等教育学校と白鷗中学校・高等学校の
2会場とオンラインにて開催

全国の学校からのご参加をお待ちしております。
詳細は後日発表いたします。

御清聴ありがとうございました



東京都立南多摩中等教育学校